



2024年11月7日

各位

株式会社インプレスホールディングス
代表者名：代表取締役社長兼CEO 松本 大輔
(コード番号 9479 東証スタンダード市場)
問合せ先：執行役員 中村 健一
(TEL：03 - 6837 - 5000 代表)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年5月13日に公表いたしました2025年3月期第2四半期（中間期）及び通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、配当予想につきましては、現時点での変更はありません。

記

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想の修正（2024年4月1日～2024年9月30日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A) (2024年5月13日)	7,200	0	50	0	0.00円
今回修正予想 (B)	6,852	△270	△243	△266	△7.84円
増減額 (B-A)	△347	△270	△293	△266	
増減率	△4.8%	-	-	-	
(ご参考)前期実績 2024年3月期第2四半期	7,038	△370	△333	△371	△10.99円

2. 2025年3月期通期連結業績予想の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2024年5月13日)	14,900	250	350	200	5.91円
今回修正予想 (B)	14,560	50	160	40	1.18円
増減額 (B-A)	△340	△200	△190	△160	
増減率	△2.3%	△80.0%	△54.3%	△80.0%	
(ご参考)前期実績 2024年3月期	14,466	△483	△366	△1,036	△30.64円

【修正の理由】

第2四半期連結会計期間につきましては、プラットフォーム事業が想定を上回る推移となったものの、ターゲットメディア及びソリューション事業は弱含みに推移いたしました。また、出版・電子出版事業においては、良化のスピードが想定より遅れていた既刊書籍が、第2四半期に入り大きく改善したものの、第1四半期の遅れを挽回するには至らず、事業構造改革の影響による新刊刊行の遅れや売れ行き良好書の不足で大きく想定を下回る状況となったことに加え、カレンダーの出荷の一部の期ずれという一時的なマイナス要因も重なり、売上高・営業利益ともに期首の連結業績予想を大きく下回る見通しとなりました。

また、通期の連結業績予想につきましては、中間連結会計期間の連結業績予想の修正を主要因に修正しており、下半期（6ヶ月）は期首予想並みの売上高、営業利益においては70百万円の増益見通しとしております。

当下半期の業績動向といたしましては、ネットメディア及びターゲットメディア事業が大きく弱含む懸念があるものの、プラットフォーム事業は堅調な推移を想定。また、出版・電子出版事業においては、既刊書籍は第2四半期の大きな改善トレンドの継続を見込んでおり、新刊書籍は刊行遅れの挽回に取り組んでまいります。なお、カレンダーについては、店頭での販売動向に関する変動リスクはあるものの、中間期の出荷の期ずれは解消される見通しであり、費用面では期首予想に対して120百万円規模のコスト削減を着実に進めてまいります。

※ 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、さまざまな不確定要素が含まれております。実際の業績につきましては、今回の予想と異なる可能性があります。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレスホールディングス コーポレートコミュニケーション室 広報担当
 TEL: 03-6837-5000 代表 / E-mail: release@impressholdings.com
 URL: <https://www.impressholdings.com/>